

地震工学会  
津波などの突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会  
第3回研究委員会 議事録

1. 日 時：2012年12月19日（水）9：00～12：00
2. 場 所：奥村組 東京本社 904会議室
3. 出席者：市古，奥村，甲斐，後藤，佐藤，末松，照本，久田，堀，真船，三上，柳原，山本，ユン，仲村
4. 資 料：
  - 資料3-1 議事次第
  - 資料3-2 第2回議事録
  - 資料3-3 講演資料「津波避難の課題に対する地域の実践的取り組み」
  - 資料3-4-1 シミュレーション部会報告
  - 資料3-4-2 シミュレーションシステムの避難検証用としての適用性（Validation）仕様書案
  - 資料3-5-1 2012年度第2回避難の課題の調査・分析部会（都市避難部会）議事録（案）
  - 資料3-5-2 都市避難部会名簿
  - 資料3-6 津波避難調査資料収集分析部会（2012年12月6日）議事メモ
5. 議事内容：
  - 5.1 議事録確認（三上委員）
    - ・ 第2回の議事録確認を行った。
  - 5.2 講演「津波避難の課題に対する地域の実践的取り組み」
    - ・ 照本委員の特別講演があった。
    - ・ 海南市，みなべ町，白浜町での訓練の事例紹介があった。
  - 5.3 各部会の研究計画と成果のイメージ
    - (1)シミュレーション普及部会
      - ・ 堀委員と末松委員から報告があった。関連する質疑応答は以下の通りであった。
        - ① Verification ではベンチマークモデルの検証を行うのか。公開ソフトや市販ソフトも対象とするのか。  
→その通りである。性能を把握することが目的である。
        - ② タイムスケジュールは？  
→今年度はVerificationの仕様を確定し，来年度早々にまずは委員参加している4機関での確認，その後に公開して参加機関を募集したい。
        - ③ 例えば非常時は津波浸水エリア，通常時は非浸水エリアといった境界部分など潜在部分をオプションとして付けたらどうか  
→オプション付加するには提案者の継続的なサポートが必要である。
        - ④ 歩行者データには津波避難調査団のデータを利用可能と思うが，車データについてはどうするのか？  
→ヒアリングデータは倍半分の精度に利用できる程度に参考とする。

- ⑤ 資料 3-4-2 の図 1 について、具体的なデータ提供が必要ではないか。例えば、高台に向かった車と駐車 4 の方向へ向かった車の割合や、日和大橋からの流入量など。  
→石巻の人に見てもらって大体こんなもんだと評価してもらえらる程度で Validation は OK と考えている。
- ⑥ 自転車、バイク移動をオプションとして入れるのか。  
→取り入れなければならない条件ではないと考えている。車より容易に取り入れることが可能である。
- ⑦ 避難路の幅員の影響はどのように取りこんでいるのか。  
→資料 3-4-2 の図 2 に記載の「処理能力」の部分で制御できる。

## (2) 都市避難部会

- ・ 久田委員から報告があった。

## (3) 津波避難実態調査資料収集分析部会

- ・ 佐藤幹事から報告があった。
- ・ 既存資料の収集について協力の依頼があった。
- ・ ワークショップ開催について協力の依頼があり、照本委員より先方が受け入れるかは不明であるが和歌山県に協力を依頼することは可能である、甲斐委員より内容を提供いただいた上で打診は可能である、との回答がそれぞれあった。

関連する質疑応答は以下の通りであった。

- ① 分析はどうするのか？  
→まだ決めかねている。山田と石巻の結果を提供することになるだろう。
- ② リストの機関へ交渉をする担当者を決めているのか。  
→今後の進展状況を見て決める。

## (3) 国際交流部会

- ・ 佐藤幹事と後藤委員長から、村上委員に代わって報告があった。
- ・ 部会人数が少ないので協力者を募集中であり、場合によっては委員会メンバー以外からも増員する。

## 5.4 H24 年度予算の執行について（山本幹事長）

- ・ 年間予算 30 万円のうち次回の委員会までで講演者の旅費として 15 万円を消化する予定である。残り 15 万円の用途として購入、入手したいものがあれば、来年早々までに提案していただきたいとの依頼があった。地方の委員の旅費支給等も含め、提案を取り纏めて順位付けし、用途を決定したい。関連して次の意見があった。
  - ① 津波避難調査資料収集分析部会では来年度開催予定のワークショップで旅費が必要となるので、今年度は他の部会での消化を優先したらどうか。
  - ② データ保存用として有料オンラインストレージへ支出したらどうか。
  - ③ Web 会議用にマイクやスピーカを購入してはいかがか。

## 5.5 その他

- ・ 後藤委員長が取り纏め資料等に関する案を次回委員会で提示する。現時点でのイメージについては次の通りである。
  - ① 地震工学会論文集特集号の企画、投稿については可能であればやりたい。

- ② 報告書と資料集を作成する。期日は再来年 3 月で、各部会の要点を報告書冊子として取り纏める。資料集は CD-ROM とし、全ての資料を PDF 等でまとめて保存する。配布先の一案として自治体を想定している。分量はまだ思案中である。
- ③ シンポジウムを実施する。
- ④ 大会の特別セッションを実施する。
- ・ 甲斐委員より、予定している防災訓練の際にアンケート調査を行うので、シミュレーションに必要な項目があれば連絡いただきたいとの依頼があった。

#### 5.6 次回の研究委員会

- ・ 池田先生（富士常葉大学）に特別講演を依頼する。
- ・ 平成 25 年 2 月中を目途に日程調整する。

以上